

## はじめに・・・

滋賀の子ども・若者が、日々の生活の中で、幸せを実感しながら心身ともに健やかに成長することは、私たちみんなの願いです。

しかしながら、子どもたちを取り巻く環境は日々、厳しさを増しております。ひきこもりや不登校などの社会生活を円滑に営む上での困難を有し、生きにくさを感じている子どもたちの支援など、健やかな育ちを支えることが重要です。近年では、家族の世話をしなければならないことにより子どもらしい生活を送ることができないヤングケアラーの問題も顕在化されています。また、新型コロナウイルス感染症により、改めて社会の脆弱性が浮き彫りになり、子どもたちは、不安な気持ちを抱いたり、我慢を強いられたりするなど、様々な影響があったと考えています。

県では、令和2年3月に策定した「淡海子ども・若者プラン」により、子どもが生まれる前から自立するまでの施策を総合的に進めているところです。また、令和4年4月28日に、滋賀県子ども政策推進本部を立ち上げ、子どもを真ん中においた滋賀県の実現を目指して、子ども・若者の思いや発想を大切にしながら、庁内の連携をより強化するとともに、市町や関係団体の皆様とも協働して、子どもに関する施策を強力に推進しているところです。

子ども・若者は、大きな可能性を持ったかけがえのない存在です。全ての子ども・若者が居場所と活躍の場をもち、自尊感情や自己肯定感を育みながら、自立した個人として健やかに成長し、明るい未来を切り拓いていくためには、家庭、地域、学校、企業、そして私たち県民一人ひとりがそれぞれの役割を果たし、連携しながら取り組んでいくことが必要です。

本書では、本県の子ども・若者を取り巻く現状と「淡海子ども・若者プラン」の関連事業の実績・成果を紹介しています。本書が広く活用され、県民の皆さまに、子ども・若者育成に対する理解と関心を深めていただくための一助になれば幸いです。

令和6年（2024年）3月

滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局